

# 舵輪

## 退任の挨拶

「出しの風」に 船出を祝ひ

「あゆの風」に 方を思ふ

相寄り来りし 昔より

これ北前の ならひにて

旅立ち集ひへの水濤

などてか嘆かむ

奈古の江の 新しき湊

母船はは護(も)りて 四歳の泊り

かざす帆に 立山の万俣(まゐり)

万葉の風

旅立たむ

吹き初む「出し」に

「あゆの風」に

相寄り見(ま)みゆる

日数へつ

新しき故郷を思いつつ

旅の人 平井 顕(常務理事)

このたび4月1日付で航海訓練所に復帰することになりました。本当にあつと言つ間の2年間でしたが、公私ともに充実した時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございます。ただか話せることですが、着任したばかりの頃は諸先輩に比べ帆船の経験が少なく、ともあつて、本当に自分に二等航海士が務まるのさうか、という不安で一杯の毎日でした。しかしながら、皆様の暖かいご支援、ご協力をいただき、上手に仕事をこなせたかどうかは別として、なんとここまで来ることができました。本当にありがとうございます。

お世話になつた富山を3月31日付で去ることになりました。平成8年4月から海王丸財団に勤務して、新湊で2年間過ごしましたが、2年の歳月では短く、土地に染むのはやはり無理だったのかと、今しみじみ感じております。日本全国どこでも日本語が通じ、どこに住んでも違和感が無いはずと思いが、けじめのない一種独特な風土があるように思います。古都京都もなかなか染み難い土地柄であると聞いたことがありますが、伝統文化を大事にする富山と相通するまのがあるのかもしれない。しかし生活しにくい土地ではありませんでした。日本海の豊富な魚介、美しい散居村、富山湾にそびえる三千メートル級の雪を頂く立山連峰などを眺める時は、非常な幸福感に浸つたものです。

4月1日、航海訓練所から入団した望月です。就任に当たり、簡単にご挨拶申し上げます。生まれはアルプスの向こう信州安曇野です。海無し県ですが船員は昔から多く、ロマンを求めて世界の海へ羽ばたいたのでしょうか。私の場合は、小5の修学旅行のとき柏崎で海水浴を初体験したことが、その後の人生に大きく影響したのです。夏の真っ赤な太陽が水平線に向かって落ちていく様子は、山国では決して見られない感動的なものでした。

平成10年4月人事異動で新湊市から着任し、まわりの皆さんの指導、協力を得て、戸惑いながらも仕事をしています。海王丸を目の前にすると、「海の貴婦人」と言われてきた日本一美しい船が新湊市海王丸パークに係留されていることに誇りを感じているところです。また、海王丸を支えている展帆等ボランティア活動の皆さんやそれを養成している船長及び職員の方々に頭の下がる思いです。私が海王丸に乗船したのは、当財団に払い下げられる前に、富山新港に入港したときの1度しかないと思ひ、新湊市民として何か恥ずかしい気持ちでいっぱい

## 着任の挨拶

常務理事 望月 一朗

昭和三十八年、商船大学を卒業と同時に航海訓練所に入所、以来35年間(海上生活はその3分の2)若者達と生活を共にしながら人生を語り、時には何日間も時化た海で苦しんだり、熱帯の珊瑚礁が織りなす素晴らしい海底の模様を心打たれたり、練習船での経験は私の人生に多くの貴重な財産を残してくれました。海王丸には昭和41年に乗船し遠洋航海で初めてカナダに行き、若い航海士としての修行と楽しい思い出が、ギアの数と共に思い出されます。これらの経験は、改めてお話しする機会もあると思ひますが、再びこの海王丸で青少年や一般市民の方々と語り合い、船内生活や展帆を通して帆船のしくみや協力作業の素晴らしさを理解していただければ、私がここに来た甲斐があると言つたものです。どうぞよろしくお願ひします。

今後、海王丸が青少年教育及びボランティア等の場として充実し、また県民、市民の大きな誇りになるよう、一職員として頑張っていきたいと思ひます。

# 舵輪

二等航海士 木村 昭夫  
「見上げれば北アルプス、見渡せば日本海」と謳い文句にもありますように大自然豊かな新湊へ希望ふくらませ参りました。

(財)帆船海王丸記念財団、業務課技師として前任者同様、よろしくお願いいたします。

さて、4月の「ボランテニア練習会」により初めてボランテニアの皆様と接することができました。どなたにも意欲たつぷりの印象を受け、改めて帆船海王丸の魅力を感じたところであります。

海を愛する人、船が好きの人、人との出会いを大切にされる人、様々だと思います。1人でも多くの方の笑顔が見られるよう頑張つてゆきます。

安全第一を目標に今年度も海王丸と楽しんでゆきましょう。

## 業務課技術員 高橋 一男

航海訓練所から派遣された高橋です。今年3月まで現役日本丸に乗船してました。走る帆船じゃありませんが皆さんと一緒に仲良く頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

## 空リデンキの甲羅干し

「QE2に乗つてまいりました」

前任二等航海士 小武海 紀人  
QE2の客室には大きく分けてランクが4つあります。上から順にQ、P、C、Mとなり、それぞれQ1、Q2...のように更に細かく分けられています。当然のことながら高い料金の部屋の方が広く豪華で見晴らしも良く、甲板も高い位置にあります。私達の部屋はM3で、1、6まであるMクラスの間です。広さは4畳半くらいで、ベットが2つにテレビ、洗面所とシャワーがついていました。ちなみにM3までは窓の無いインサイドと呼ばれる部屋となり、窓のある部屋M2になると価格にして5万円くらい高くなります。がしかし、無理しても窓付きの部屋にしておくべきだったかな...と思つています。QとかPとかの違いは主に使用するレストランの違いです。船内の施設、劇場、バー、その他全てのサービスについて平等の扱いを受ける訳

ですが、食事の場所だけは指定されてしまいます。とは言え、その点については不満を感じることは一切ありませんでした。私達はモーレタリアという名のレストランで主に食事をしました。テーブルもウエイターも決まっております。最初から最後まで同じテーブルで同じウエイターのもので食事をします。チップはいらないの？と当然考えますが、キユナードでは現在ノーチップ制を取っており一切必要ありません。でも情が移るとでも申しましょうか、下船前の最後の日に気持ちだけ置いてくる人がほとんどで、私達も同様にしてきました。食事については、基本的には英国スタイルです。すなわち、朝食にはパン、卵料理、ベーコン、シリアル(コーンフレーク等)、ジュース、そしてミルクティー。コーヒーも当然ありますが、英国に敬意を払ってミルクティーという方がほとんどです。ランチ(昼)、ディナー(夕)についてはそれぞれのアラカルトから選んでお願いすることになっており、望むならば昼でも夕でもフルコースを食べることが出来ます。またいくらか食べても割り増し料金はありません。飲み物つまりお酒の類については、別途にお金がかかります。これはレストランにかかわらず、船内に5つあるどのバーで飲んでも同一の料金です。残念ながら日本のお酒はありません。残念ながら、オードラーする時は英語で行いますが、希望すれば日本語のメニュー表をくれますので、「何だか分からないけど頼んでみてからウサギの肉だった」ということはありませんでした。また指定されたレストランへいわゆるバイキングも利用することが出来ます。ここには簡単な日本食も用意されてました。この他に、英国らしく午後のお茶(もちろん紅茶です)の時間があり、毎日午後4時くらいからお茶とケーキをいただきます。

続いて船内の服装についてお話しします。昼間はカジュアルな服装、すなわちジーパンにTシャツでも問題ありません。但し水着のまま船内を歩くことは禁止で、男性の場合は半ズボンでレストランに入ることも禁止されています。そして夜間についても禁止されています。午後6時以降の船内における服装を毎日指定され、この服装をしないといふレストランにも入れません。ドレスコードは基本的には3種類あって、フォーマル、インフォーマル、カジユアルという具合に決められております。フォーマルの日には男性の場合はタキシードもしくはダークスーツに蝶ネクタイ、女性の場合はカクテルドレスか着物、インフォーマルの日には男性の場合はジャケットにネクタイ、女性の場合はワンピースかツイード、カジユアルの日には男女とも昼間と同様の服装という風になっています。私達の場合カジユアルの日は無く、フォーマルが6日、インフォーマルが7日ありました。さて旅行前に私達が一番頭を悩ましたのがこの服装です。まず私の場合、タキシードなど当然もつている筈ありませんでしたので「この際結婚式にも使えばいいや」ということで一式購入することにしました。私はこの時まで、タキシードという服がどんな服なのかよく知らなかつた訳ですが、シャツには「ひらひら」が付いているし、やれカマーバンドだサスペンダーだと大変なことになりました。8号線添いの紳士服店で購入したのですが、店員さんに真顔で「こんな服を取り扱うのは初めてですが、一体何に使うのですか？」と問われました。この他に、普通のスーツを着持参しました。さて妻のドレスですが、結婚式の「色ドレス」を自分で作ったので、それをそのまま使用することになりました。しかし、女性というものはつくづく難しいもので、「毎回同じドレスで1着購入し、更にマイアミにてもう1着購入し、計3着で出陣しました。またこの他にスーツを2着持参しました。なおドレスにしてもタキシードにしても、船内で借りることもできる訳ですが結構な額がかかりますので、もし同種の船に乗船を考えているなら持参することを勧めます。それにしても、フォーマルの服を着る場面というのは、男にとつて最初はともかく回数を重ねることにだんだん面倒になりませんが、女にとつては女性客が他にいなかつたこともあって、まさにそれはモータイヘン...大変喜んで、

大はしゃぎしてました。(次号に続く)

## テリビ放映のお知らせ

日曜日の朝のクイズ番組「クイズフォーカスイン」において、海王丸を題材とした問題が出されます。放映は4月26日(日)第1回総帆展帆日ですが、5名のボランテニアにも参加していただいております。どうぞビデオに収めてご覧ください。

## 主催海洋教室について

恒例の財団主催海洋教室を左記のとおり開催いたします。ご近所、お知り合いお誘い合わせのうえ多数のご参加をお待ちしております。

## 宿泊コース

6月27日(土)	28日(日)
7月25日(土)	26日(日)
10月10日(土)	11日(日)
7月5日(日)	
9月20日(日)	

## 新郵便番号の調査について

再三お願いしておりました新郵便番号変更につきましては、皆様のご協力により半数程度作業を終わらせることができました。ありがとうございます。まだご連絡いただいていない方は、返信用はがきにご記入をお願いします。

## あしがき

先日はいきなり30度を越え、観測史上20年ぶりといわれる7月下旬の暑さになりました。これもエルニーニョの影響でしょうか。とにかくくめまぐるしく変わる天候に、皆様はまいつておられないでしょうか。

練習会も終わり、いよいよ展帆本番を迎えることになりました。メンバーも替わりましたが、我々の思いは常に同じです。何はなくても安全第一!それしかありません。よろしくお願いいたします。

ITTY